

【学校課題】

- ・「きふ いのちの教育」の推進を図るとともに、校内環境整備を充実させ、安心・安全な学校を実現する。
- ・児童理解と研究推進を軸に「笑顔あふれる児童」「主体的、対話的で深い学び」の実践を通して指導力や授業力の向上を図る。
- ・挨拶、家庭学習、ICTの利活用の習慣化を図り、「いつでも、どこでも、ひとりでも」当たり前活動できる児童を育てる。

【大野町の教育の基本方針】

「ふるさと大野」で育んだ自信と誇りを胸に、
よりよい未来の実現に挑み続ける人

【大野町小中学校教育の方針】

- 人権意識を基盤とし、一人一人に生きる力を育む指導をする。
- 生命尊重、規範意識の醸成に関する指導を充実させる。
- 地域とのつながりを大切にし、「ふるさと大野」を愛する心と態度を育てる指導をする。

【学校の教育目標】

考える子 助け合う子 きたえる子
～人間性豊かな たくましい児童の育成～

【目指す学校像】

「いきいき」学び、仲間と「ほかほか」、笑顔があふれる西小学校

児童：学ぶ楽しさや充実感・仲間との学び合い・自己の成長の実感

教職員：主体的な学びを続ける・児童の成長を語り合う・組織としてのチームの充実

【目指す児童像】 「自分で考え、適切に判断し、行動する」：「いつでも、どこでも、ひとりでも」

- ・進んで学習や生活の課題を見つけ、克服しようと努力を継続する児童
- ・相手への礼節を大切にしてかわり、思いやりのある言動ができる児童
- ・課題や問題の解決に向けて努力し、失敗を恐れず行動し続ける児童

**考える子
助け合う子
きたえる子**

【重点とする取組】

学習づくり 【考える子】

主体的・対話的で深い学びの実現

- ・学習規律（聴く－話す）の徹底
- ・実態把握と導入の工夫
- ・児童自らが問い・課題をもつ
- ・協働的な学びの工夫と改善
- ・学びの深まりや伸びの実感

家庭学習の習慣づくり

- ・家庭学習の取組・質を改善する
- ・ICTを利活用した個別最適な学びの実践

仲間づくり 【助け合う子】

互いのよさと成長を自覚する仲間

- ・児童主体の委員会活動
- ・相手のよさを互いに認め合う
- ・自分のよさに気付き自信をもつ
- ・自他の成長を価値付け喜び合う
- ・挨拶・返事できる学校・地域
- ・挨拶のよさを実感し実践する
- ・呼びかけに対して反応する仲間
- ・家庭・地域と連携して生活習慣の改善

自分づくり 【きたえる子】

健康で安全な生活の実践力向上

- ・ルールを守り、楽しく遊ぶ
- ・ミニ訓練の実施と改善
- ・心と体のリズムを整え、自他の命を大切にする活動
- ・早寝早起き朝ごはん
- ・地道な環境衛生活動
- ・校内支援体制の充実
- ・学習支援室、教育相談の充実
- ・キャリア教育の充実

個別最適な学び・協働的な学び
小集団活動、学び合いの充実

仲間とかかわる活動の充実
リーダー、フォロワーの指導

ぎふ いのちの教育の推進
自己肯定感・自己有用感の向上

指標 1 学校が楽しい **95%**（仲間づくりアンケート結果による検証）

【教職員の基本姿勢】

「子どもに寄り添う教師」「学び続ける教師（子どもは考えているか）」「チーム西小（情熱・使命感）」

- 危機感共有と生徒指導体制の充実→3S（スピード・誠意・精度）、報連相・兆候を見逃さない職員集団。
- 生徒指導能力と教育相談力の向上→日常的な観察と教育相談・「不安・不満・不信」のキャッチと連携
- キャリア教育（進路指導）の充実→目標をもつことの大切さの指導・児童理解と努力の尊さの指導
- 特別支援教育（通級含む）の充実→個別の教育的ニーズを要する児童の理解・学校全体での支援体制
- 働き方改革実施と信頼される学校→実態把握と日常的な情報発信・教育公務員としての資質の向上

【家庭・地域との連携・協働】

指標 2 時間外勤務 **40時間以下**（タイムマネジメント）

- 学校運営協議会の充実：課題の共有と協働活動の工夫
- 学校評価（PDCA サイクル）の活用
- PTA活動の精選、保護者・地域住民の参画意識の向上
- 関係諸機関（福祉課-こども園等）との連携